

はじめに

スポーツは、障害の有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深めることができます。

また、学校における運動部活動は、学校教育の一環として、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒の自主的、自発的な参加により、顧問の教員をはじめとした関係者の取組や指導の下に運動やスポーツを行うものであります。

本県においては、平成26年度、中学生の70.7%（市町立中学校及び県立中等教育学校前期課程）、高校生の56.8%（県立高等学校及び中等教育学校後期課程）に及ぶ多くの生徒が運動部活動に取り組んでおります。そして、運動部活動は、心身の成長過程にある生徒にとって、体力を向上させるとともに、他者を尊重し他者と協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を養うなど、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む有意義な教育活動となっています。

県教育委員会が実施した運動部活動に関する調査では、運動部員の約9割が、「部活動はつらいこともあるが、目標に向かって努力し楽しく活動できている」と回答しており、多くの顧問教員をはじめとした指導者の皆さんが、生徒それぞれの目標やニーズに応じた指導を行っていることをうかがうことができ、改めて日頃の御尽力に敬意を表し、感謝いたします。

さて、平成23年3月に、「みやすく」、「わかりやすく」、「つかいやすく」をコンセプトに発行した「運動部活動運営ガイド」は、経験の浅い指導者の指導手引として、また経験豊富な指導者には運動部活動の教育効果などが再確認できるものとして、適切な指導や運営等のために、活用していただいております。しかしながら、ガイドを発行して4年が経過し、この間に心肺蘇生の手順をはじめとしたデータ更新の必要性が生じたことや、平成24年12月には、顧問教員の体罰を背景として高校生が自ら命を絶つという痛ましい事案が発生したことなどから、「運動部活動等推進委員会」において、ガイドの改訂版を作成することとしました。

指導者の皆様には、このガイドの改訂を機に、具体的な指導の在り方、内容や方法について更なる創意工夫、改善、研究等を進めていただき、各学校の特色を生かした適切で効果的な運動部活動が一層充実されることを願っています。

終わりに、本冊子の作成に当たり、メッセージを寄稿していただいたトップアスリートの皆様をはじめ、御指導と御協力をいただきました方々に、心から感謝申し上げます。

平成27年3月

愛媛県教育委員会教育長 仙波 隆三